



フラ浪漫

第六回
「四谷・赤坂」編

日向夢想
夢想人企画

オフ会のまち歩き企画「ブラ浪漫」に参加して、散策などを行っている時などに撮影した写真をまとめてみました。

拙いですが、記録として残します。

今回は、2011年10月8日に開催された、ブラ浪漫第六回「四谷・赤坂」編の写真です。

撮影：日向夢想（夢想人企画）

※「ブラ浪漫」は、浪漫社の企画です。



四ツ谷駅のホーム屋根を見下ろす。



上智大学のキャンパスとグラウンドの間にある桜遊歩道。



お。ブラ浪漫とは別の集団がっ！
桜の樹を調査するボランティア団体らしい。



また四ツ谷駅の駅舎が見えてきた。



桜の枝は、成長したそのまま。あとから来た人間のほうが、先輩を避けて通らないとね。



遊歩道の掃除用具倉庫。



ホテルニューオータニ。前を通っただけ。

隣のグランドプリンスホテル赤坂辺りが紀伊藩の屋敷跡。上智大学は尾張藩の屋敷跡。そしてここニューオータニは、彦根藩井伊家の屋敷跡。合わせて「紀尾井町」になったそうだ。



教会。この写真ではわかりにくいけど、2階に和室の広間があるようだ。



ここはなんという坂なんだろう。上智大学の東側。紀尾井坂下からさらに下るかたち。



上智大学校舎。庇状の突起物（天板がないので庇の役目はしていないが）に、意味あり気な装飾が

。



その装飾を近くで撮影すると、こんな形状。



東京スタイル。



東京スタイル。正面玄関側の外観。存在感のある佇まい。



構内の擁壁。途中で積み方が変っている所が興味深い。



擁壁。ちょっと凝ったリブ装飾が、少しは圧迫感を和らげている。

上智大 学生に告ぐ

この場所は駐車禁止となっております。
又、周辺住民の方々に迷惑を掛けること
になりますので、オートバイ等を置かな
いで下さい。

大学では、オートバイ等での通学は、
認めておりません。

上智大学。

上智大学生に告ぐ！



昭和然とした一画から、向こうの赤坂方面の高層ビル群を望む。



なんだか「銀河鉄道999」の冒頭で、ダウンタウンから眺めるメトロポリスみたいな雰囲気。



ほら、やっぱりダウンタウンだ（笑）。空き家だと思うが、古い民家が。



いつから放置されているのだろう。



別の敷地の物置。



ここも、住んでいるのか空き家なのか微妙。



すぐそばでは、解体工事が。地下ピットと耐圧スラブがまだ残っていた。



どうみても営業中ではない雰囲気の中華料理屋。



ビルの入り口に、何かがいる。



近寄ってみると、ハリネズミだ！（笑）



カレーのチャンピオン。ここで昼食。金沢カレーってどういうのだろう。



カツカレーを注文。ルーは粘りがあるような感じ。フォークで食べるほどに濃い。だが決してしつこくはない。カツは一見すると薄そうだが、衣に無駄なく美味い。

店長にお聞きしたところ、「金沢カレー」の特徴とは、濃厚なルーと千切りキャベツ、それにフォーク、だそうだ。



ボタン店。ボタンのみで需要がなりたっているのが凄い。テレビ局の近くなので、衣装関係の需要か？



現在はラーメン屋だが、その前は寿司屋か何か和食系飲食店だったような趣の外装のビル。役物瓦装飾。



この四角いものは何だろう。樋の集水器？ それにしては大きすぎる。



染め物屋さん。



喫茶店の店内に猫の飾りが。



麴町の老舗洋菓子店、栄陽堂。明治19年開業だそうだ。



栄陽堂店内に、大日本帝国政府東京府麹町区役所から受けた営業許可鑑札が飾られている。



貝坂のビル。壁面各階にある突起、3階のそれに家紋のような図柄が。2階のは穴が空いている。



穴の中には、仏像が。建替前に敷地内にあったものをここに安置したのだろうか。



この建物は、高野長英の大館堂学塾跡らしい。その石版が外壁に埋込まれている。



貝坂を下ったあたりにあった、昭和っぽいテラー。



現役で営業している。



どうもこういう建物を見つけるとカメラを向けてしまう。



外壁が破損したまま。



大規模マンションの構内。



同じく。

土地の記憶と風景の継承

平河町は、かつて武家屋敷とともに商人や職人の集まる古くから賑わいを見せた場所であり、この地は明治時代以降柳原二位局や杉孫七郎の屋敷のあった由緒ある土地である。

柳原二位局(柳原愛子、安政六年～昭和十八年)は、明治天皇の典侍(宮中の最高位の女官)であり、大正天皇の母。

幕末の議奏(天皇に近侍し、勅命を伝える)の御前(まへ)に侍(まも)る。

正二位 柳原光愛の次女として生まれ、柳原(なはら)の

明治天皇の没後は、準皇族の扱いを受け、大正

って枕辺で別れを告げたと云われる。

九州一の炭鉱王との結婚や次々に発表し

ここは、柳原二位局（大正天皇の母）の屋敷跡。



同構内、下馬所の碑。



山王坂を下る。



振り返ると、国会議事堂（裏側）が見える。



山王日枝神社へ。



山王日枝神社、正門。



山王日枝神社、本堂。



神社から降りる。



広い方の参道は、神社らしくない雰囲気。



脇の細い方の参道を下る事にした。



今は無き（笑）帝都高速度交通営団（通称・営団地下鉄、現・東京メトロ）の寄進碑。



山王日枝神社から赤坂へ。



ねぎ..... (笑)



おふくろの味「ねぎ」..... (笑)



雑居ビルの案内板。4階に入っているのはどんな店なんだろう（笑）



赤坂月世界ビルって、昭和な感じのネーミングだ。



月世界ビル内部。エレベーターホール。最近のビルには見かけない、作り付けの灰皿。これも昭和っぽい。



メトロビル。いいなあ。この周辺は昭和のままって感じ。



メトロビル内部。吹抜けと、流水式装飾。クレージーキャッツの映画に出てきそう。

AKASAKA

*Long Beach
Building*

赤坂ロングビーチビル
港区赤坂三丁目21-20



何故に、赤坂にロングビーチ？ オーナーが長浜さんなのかな（笑）



バル・デルソーレ。バーの事をイタリア語でバルというそうだ。



バールって、立ち飲みの事なのかな。でも今回はここのオープンカフェで休憩。カプチーノをいただいた。



路地へ入る。



赤坂にも路地はある。

1 日本海

1 シスターランドリー

B1 小松みどりの部屋

B1 LOCO

「シスターランドリー」と「小松みどりの部屋」が、どんな店なのか気になる。



土佐料理屋さんのコースター。集めたい！



明日にける橋。



下は「一見さんお断り」の料理屋さんっぽいぞ。その上にはステンレス箱文字のビル名が目立ち、さらに上には「明日にかける橋」
すごい建物だな。



夕暮れ間近。むこうに「大人のお城」が見える（笑）



昔ながらのアパートが建ち並ぶ一画。



この無意味な階段は何だ？



無意味なのは階段ではなく、変な仕切り壁の方。



迫力のある警告看板。いつからあるんだろう。



シナリオ作家協会の建物にある掲示板。講座も開講しているんだね。



このシナリオ会館は、1964年竣工。



三分坂（さんぶんざか）を上がる。急勾配なので籠かつぎがここを通る時に、代金を三分追加請求したのが名の由来だって。



円通寺坂。



カレー屋さんかな。本日はお休み。スヤスヤ。



アイデア料理 井出。ダジャレか？

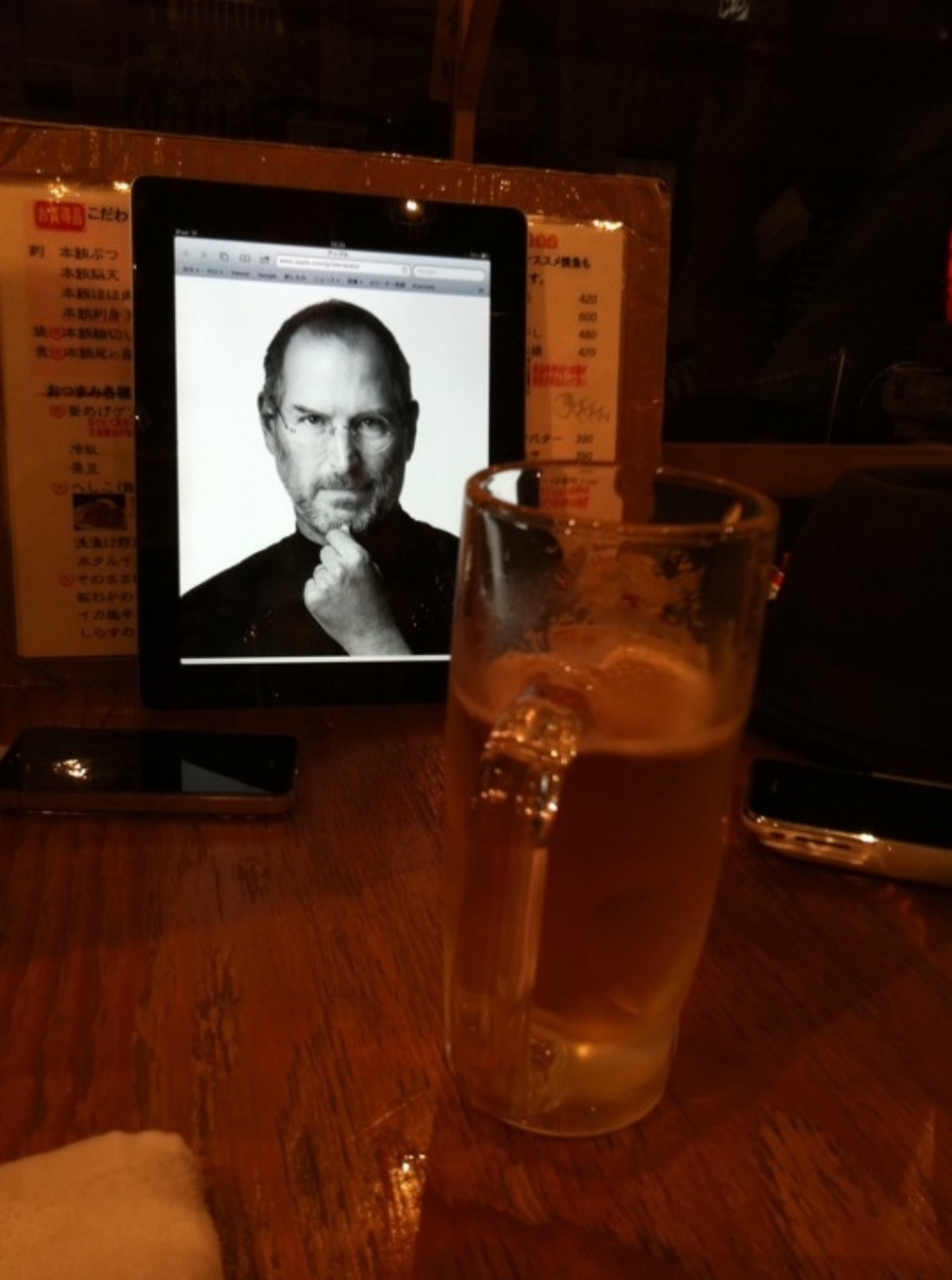
Level 2 Sauna
Beauty Asakusa
ビューティ アサカス
サウナ

入浴 2時間 1800-1900 時 ¥1,000	入浴 8時間 2100 時 ¥2,000	回数券 10回 ¥15,000	お風呂の日 6日 16日 26日 ¥1,000
------------------------------------	-------------------------------	-----------------------	-------------------------------

03-3583-3363

食善・酒席
たべもん
食 門
☎3586-0552

たべもん。ダジャレか？



10キロ強の散策を終え、赤坂見附の居酒屋で反省会。

去る2011年10月5日に亡くなった、スティーブ・ジョブズ氏への追悼も込めて。

ブラ浪漫第六回「四谷・赤坂」編

2011年10月19日 初版発行

<http://p.booklog.jp/book/36292>

著者：日向夢想

発行者：夢想人企画

(c)2011 HINATA Yumemasa / MUSOUBITO-KIKAKU

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/hinatayumemasa/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/36292>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/36292>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.